

自昭和十九年十月一日
至昭和十九年十月三十一日

陣中日誌

22557

32

十月一日
伊江島

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

區分	將校	下士官	兵	計	摘要
人員	二一	五七	三・四	三八二	配屬機銃連隊

二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

四、午後武冠被服・手入
五、配屬セラルル獨立機關銃隊陸軍中尉小川勇以下一七名
到着ニ同時指揮下ニ入ル

編成表 別紙附表 第一、如シ
六、通信班 加藤敏夫兵長 武藤幸次郎一等兵ハ
森 茂一等兵 宮島正治一等兵ト交代原隊
ニ復歸シ左記、者新ニ配屬ス

左記

陸軍兵長 西川 博
陸軍少兵 後藤 清

陸軍一等兵 山崎 晴雄
荒井 祥

七配屬、工兵小隊陸軍少尉井上受通以下五七名伊江島守備ニ就ク

編成表別紙附表第二ニ如シ

八現在人員左、如シ

區分	將校	准士官	下士官	兵	計
人員	二四	四	一〇	七五	一一三
九本日下達セル命令左、如シ					

伊江島地區隊命令 一九一〇年一月二七號 伊江島國民學校

一 旅團ハ守備計畫ヲ別冊、通り決定之ヲ實行ス

聯隊(伊江島北地區隊々)ハ北地區隊トナリ本部半島北半部ノ要地ヲ確保シ特ニ砲兵ヲ掩護シ又伊江島ニ對スル海上機動ヲ準備ス
第二歩兵隊ハ南地區隊トナリ本部半島南半部ヲ確保シ一部ヲ國境地區隊トシテ名護ニ位置セシメ廣ク海岸ヲ監視スルト共ニ遊撃作戰ノ後據トナル

新ニ配屬セシレタル海軍十五加二門ヲ以テ伊江島飛行場採用ヲ不能ナラシム

二

亦添國砲兵隊ハ伊江島ヲ射撃シ得ル如ク桃原附近ニ陣地ヲ準備ス
守備隊(新ニ配屬セラレシ獨立機関銃一中隊、假裝砲兵一中隊、千福三門野砲二門ヲ基幹トス)工兵一小隊、聯隊通信ノ一部ヲ加フハ伊江島地區隊トナリ在島諸隊ト共ニ伊江島ヲ確保シ飛行隊ノ活動ヲ

容易ナラシムルト共ニ止ムヲ得ザル狀況ニ至ルモ伊江城山及學校周
邊高地ヲ確保シ敵ノ飛行場使用ヲ不能ナラシメントス

三 第七中隊(小隊長、指揮スル三分隊々)ハ主力ヲ以テ伊江城山北東
側山麓ヨリ女山(女山ヲ含マズ)ノ間ニ陣地ヲ占領スルト共ニ將校ノ
指揮スル約半小隊ハ伊江城山北方約千米松林一軒屋附近ニ派
遣シ敵戦力ノ消耗ニ任ゼシムル如ク準備スベシ

四 第八中隊(一分隊々)ハ學校同邊高地ヨリ女山(女山ヲ含ム)ニ亘ル
陣地ハ堅固ニシ且秘匿ニ勉ムベシ
亦一部ノ監視部隊ヲ飯場東方松林高地附近ニ派遣スル如ク準備
スベシ

五 第九中隊(半小隊ヲ欠キ獨立機關銃一小隊ヲ配屬)ハ伊江城山北西側
ヨリ西江上飛行場道(道路ヲ含マズ)ニ亘ル間ニ堅固ニ陣地ヲ占領
スベシ
特ニ一部ヲ以テ伊江城山西北側及北側凹地ヲ射撃シ得ル如ク又第
八中隊トハ相互支援ニ関シ準備スルモノトス

六 大隊機關銃中隊(一分隊々)ハ記念碑高地及大井戸上高地女山ノ
附近ニ堅固ニ陣地ヲ占領シ主トシテ第八中隊ノ狀況ニ依リ第七中
隊ニ関シ準備シアルベシ

又西江上部落北端陣地ノ翼ヲ強化スル如ク勉ムルト共ニ部落戰
闘ニ関シ準備シアルベシ

隊正面ノ戰鬪ニ協同スベシ

一々分隊ヲ以テ伊江城山南側山腹ニ堅固ニ陣地ヲ占領シ西江上部落内道路ヲ縱射スルト共ニ第九中隊左支點前ヲ射撃シ得ル如ク準備スベシ又一々分隊ヲ燈臺附近ニ派遣シ第九中隊救生小隊(二分隊欠)ノ指揮ニ入ラシムベシ

七 聯隊砲小隊ハ一分隊ヲ以テ西江上第九中隊陣地内ニ陣地ヲ占領シ飛行場伊江城山北側ヲ射撃シ得ル如ク準備スルト共ニ一分隊ハ伊江城山東北側(豫備陣地)ハ伊江城山西南側山脚)附近ニ陣地ヲ占領シ飛行場及第九中隊陣地前ヲ射撃シ得ル如ク準備スベシ

八 獨立機関銃中隊(一小隊欠)ハ一小隊ヲ以テ東江上部落西端ヨリ伊江城山東南側斜面ニ亘ル間ニ陣地ヲ占領シ第七中隊陣地前ヲ側射シ得ル如ク主力ヲ以テ第七中隊左小隊及第九中隊右小隊陣地内ニ陣地ヲ構築西中隊陣地前ニ突進セル敵ヲ斜射側射ヲ以テ陣地前ニ撃滅シ得ル如ク準備スベシ

九 第一分隊ヲ伊江城山南側山腹ニ派遣シ豫備陣地ニ駐ル一々分隊ヲ以テ第七中隊右小隊ノ前方百米森林高地附近ニ觸角陣地ヲ構築シ王トシテ伊江城山北方凹地及第九中隊正面ヲ射撃シ得ル如ク準備スベシ 細部ハ現地ニ於テ指示ス

九 獨立速射砲中隊ハ主力ヲ以テ伊江城山西側山麓ヨリ西江上不正十字路ニ亘ル間ニ陣地ヲ占領シ第九中隊前面ニ突進スル戰車ヲ斜射側射シ得ル如ク一部ヲ以テ伊江城山東側斜面ニ陣地構築第九中隊方向ヨリ第七中隊正面ニ前進スル戰車ヲ側射シ得ル如ク準備スベシ

特ニ各陣地ハ堅固ニ構築シ且秘匿ニ勉ムベシ

一〇 砲兵中隊ハ野砲一門ヲ伊江城山南側附近ニ一門ヲ記念碑山附近ニ(豫備陣地)ハ伊江城山南側)又十榴(二門)ハ女山北側附近ニ各々陣地ヲ堅固ニ且秘匿シテ占領飛行場及第九中隊陣地前ヲ射撃シ得ル如ク準備スベシ

一一 工兵中隊ハ伊江城山南側幹部附近ニ位置シシカラ以テ伊江城山周邊

ノ障碍物設置ニ任ズルト共ニ對戰車戰鬪ノ準備ニ任ズベシ
燈臺及山々部落附近ノ水際障碍物及小型地雷ノ設置ニ關シテハ
之ガ指導ニ任ズルモノトス

三 通信班ハ五記、如ク開設ヲ準備スベシ

無線分隊ハ地區隊戰鬪指揮所ト砲兵中隊及第八中隊間ノ通
信ヲ準備

有線分隊ハ地區隊戰鬪指揮所ト砲兵中隊及第八中隊間ノ通
信ヲ準備

三 防護給水班ハ取敢ズドラム罐ニ依ル水ノ補給ヲ準備スベシ
準備スヘシ

細部ニ關シテハ別命ス

四 前項以外ノ衛生給與等ノ擔任者ハ現任者ヲ續行スベシ
又井手口軍醫官ハ學校及役場裏附近ニ直ニ救護所ヲ開設シ得ル所
ニ設ケルモノトス

其ノ他ニ關シテハ別命ス

併用シテ水際ニ於テ敷野戰ヲ行フ

六 陣中隊(第七中隊)ノ小隊長ノ指揮スルモヤ分隊及第八中隊ノ分隊トス

ハ陣中隊ノ南側陣地ニ位置シテ堅固ニ陣地ヲ構築スベシ

細部ニ關シテハ別命ス

七 一般中隊ニ對シテ陣中隊ハ各小隊長ヲ對空射撃部隊トシテ常時之ヲ
準備ヲナシテ置ク

八 各隊ノ戰車ニ對スル肉薄攻撃ヲ又一般歩兵中隊又工兵小隊ハ挺身奇襲
動作ヲ併テ訓練スベシ

九 一般陣地構築ハ徹底ニテ實施シテ消息掩蔽部ハ少クモ四十又以上ノ
土層ヲテラシムル如ク實施スルハ共ニニ關聯シテ監視壕ヲ併テ構築
スベシ

三 防衛隊青年其他官民ノ軍事教育並ニ使用ニ関シテハ別命ス
三ノハ卷ノ部山戰鬪指揮所ニテ

伊江島地區隊長 西村 大尉

下達法 各隊長ヲ集メ要旨ヲ傳ヘ後印刷交付
配布先 本部各隊及配屬各隊

日本日使領セル命令左ノ如ク

獨逸國旅団命令第四號

獨立混成第四旅團命令

一 軍ハ新ニ戰備ノ度ノ規定セラル

二 旅團守備計畫第六戰備ヲ別紙ノ通り改訂ス

三 別命ニ添各部隊戰備ノ度ハ丁度戰備ヲ實施ス

旅團長 鈴木 少將

下達法 印刷交付

獨逸國旅団命令第四號 別紙

(1) 甲號戰備

敵河カ部隊ノ上陸ヲ察スルニ當リ其ノ場合ニテハ本部隊戰鬪準備状

ニ隨時戰鬪ノ開始ヲ待ビ準備ヲ整ヘルモノス

(2) 乙號戰備

敵上陸ヲ察スルニ當リ其ノ場合ニテハ本部隊戰鬪準備状

十月二日
伊江島

午前中各隊の武器被服等

午後 休養

二 新陸地構築に際し終日大隊長統裁下、前地現地研究を
實施ス

三 本目下達セル命令左、如シ

伊守田日令 第五七號

守備隊命令

一七〇〇
伊江島

一 各隊十月四日午前中兵器検査を實施し其結果を同日一四〇〇迄
大隊長ニ報告スヘシ

二 十月五日聯隊兵器検査を實施セル各隊ハ之ヲ準備ニ遺憾ナラシ
ムヘシ(配屬部隊除ク)

三 配列場所時刻等ニ關シハ兵器掛ヨリ指示セシム
三十日ヨリ日課時限ヲ左記ニ通リ変更ス

左
完

此()内は海軍式ヲ奉ル事ニ應ジ監視哨ヲ増設スルハ本隊戦闘準備ノ
要ニ對シテ何等ノ部隊全隊戰鬥配備既ニ前各部隊ハ舊式機銃處
置區域ナリ期ニ砲撃ヲ換置スルコトノ必要ナ
空襲警報發令シテ各隊ハ別命令ヲ奉リ戰鬥ニ移ルモノトス

丙 砲戰準備

敵機部隊接近セシムルハ敵機ハ機銃水櫃備蓄庫處ニ等警戒ヲ發シ之ヲ見守ル事
會々各部隊ハ空襲警報(普通警報)發シテ六對空射撃ニ但ル部隊一部
以テ戰鬥配備力ヲ以テ警戒配備兩射撃隊ニテ警備警備ニ(見守備)兼テ
部隊近距離ニ接近シ得ルニ至リテ準備整齊ニ射撃配備力ヲ以テ警備ニシテ
留意スルモノトス警戒警報發令セシメ各隊ハ別命令ヲ奉リ戰鬥ニ移ルモノトス

丁 射撃準備

敵機警報及電燈警報發令ニ對シテ是等場合ニ各部隊ハ其ノ射撃(電燈及
海上監視哨)警報發令ニ應ジテ他ノ故有射撃禁煙ヲ通リ禁煙其他ノ勤務ニ
關シテ各隊長ニ報告セシムル事ヲ命ズ

十月三日
火曜日晴
伊江島

馬

起床日朝吳呼	〇六〇〇	朝食	〇七〇〇
診断	〇八〇〇	中食	一一〇〇
會報	一七〇〇	夕食	一八〇〇
日夕吳呼	二〇三〇	消燈	二二〇〇
四衛兵交代、明日引當分間	八〇トス		

一 地區隊長ハ飛行場大隊ニ赴キ今後陸地構築ニ協力ヲ要望ス
 二 諸兵各隊長(獨立隊長以上)ハ自己担任區域陸地細部偵察ヲ實施ス
 三 下士官以下ハ兵器検査準備
 四 夕食後隊長室ニ獨立小隊長以上集合シ陸地ニ関スル研究ヲ實施ス尚同時先般部隊長會同上司ノ意圖ヲ傳達ス
 五 本日下達セル命令左ノ如シ
 西日命令第五八號

十月四日
木曜日雨後晴
伊江島

右ノ軍事務連絡ヲ明日ヨリ開始ス豫定ノ以テ久松隊ヲ			
七八三六部隊本部ニ出張ヲ命ス			

一 〇九〇リ各隊毎ニ中隊長中隊兵器検査ヲ實施ス
 二 地區隊長午前中獨ニ機関銃中隊長並ニ井中尉ノ件ニ陸地構築偵察ヲ實施シ機関銃陸地ヲ研究ス
 三 諸兵集結終リタルヲ以テ地區隊長ハ一五〇校庭ニ於テ構築以下全員ニ對シ旅團長訓示普及徹底ヌルト共ニ且ツ新陸地構築ニ関シ訓示ヲ行フ
 四 一五四以降夕刻迄中隊長以上陸地細部偵察其他陸隊兵器検査準備ヲナス

十月五日
木曜日 曇雨
風 旗
伊江 島

一 隊隊兵器検査ヲ別紙受檢計画表・順リ遊リテ受檢ス

二 兵器検査・受檢計画表別紙附表第三、如シ

三 井手口軍醫及長谷川衛生部見習士官衛生講話・實施ス

四 頭二三〇〇地區隊長、各隊長ヲ伴ヒ新陣地・經示ヲス

五 各隊、本日ヨリ新陣地・構築作業・終日實施ス

六 村民勤勞奉仕隊三七二名出場ス

七 頭二三〇〇地區司令部ニ基テ、情報演習ヲ實施ス

八 一三四〇氣象特報ヲ受テ、一六・九三・發令

九 本朝六〇〇ニシテ、東經一三度北緯三三度五分一七〇。北風

ヨリ時速ニ科三北北東ニ進行中、其ノ爲、南西諸島及

九州・近海ノ風波高ニ付キ、嚴重ナル警戒ヲ要ス

十 本日變下達コレ命令如シ

伊江島司令部

一 副司令官

二 副官

三 參謀長

四 頭二三〇〇地區司令部副官並ニ巡察將校收發ス

一 陣地構築作業ヲ終日實施ス

二 村民勤勞奉仕隊三〇名出場ス

三 頭二三〇〇地區隊長、副官、田村部隊ニ赴キ守備ニ當ルル打

合ヲ行フ

四 頭二三〇〇地區隊長、明日ヨリ出張不在間、敵空襲ノ顧慮、地

區隊將校全員ヲ注意件ヲ命令シ且テ檢閲ス

左記

ノ留守中情報ヲ蒐集スラ迅速ニシ

十月七日
土曜日 曇
風 旗
伊江 村

2 對空監視地區隊本部於設レ、外各隊ニ於テモ對空監視ヲ實施セムハシ

3 地區隊ノ宿營セル學校ハ敵機ノ好目標ナルヲ以テ空襲ヲ受ルノ慮アリニ至ルハ各隊ハ豫メ準備シテ掩蔽部ニ疎開シ得ル如ク常時準備ヲ完了シ共ニ至ル迄徹底シ置クハシ(各隊毎ニ迅速ニ疎開ヲ豫行ニ實施ス)

4 對空射擊部隊ハ一般中隊ヨリ各小隊各機關銃中隊ヨリ一小隊ヨリ常時準備シルベシ

射擊位置ハ敵機ニ對シ掩蔽ヲ得ル位置ニ豫メ選定シ置キ下意急襲射擊ヲ實施スルニ爲メ射擊距離コトモ、定ハシ對空射擊ハ陸丸ヲ以テスルヲ射擊ノ思想ナリ遠距離射擊于ハ彈丸ヲ浪費スルノミナラス尙カナシト注意ス)

機 銃

5 地區隊副官ハ地區隊全般ノ彈藥、糧秣、其他資材ヲ速ニ一層徹底的ニ分散掩蔽スル處置ニ明ルヨリ實施スルハ分散、處置ハ已ニ實施スルモ尙殘存資材一部ノ學校ニ存シ置キ以テ直ニ陸地附近ニ移スベシ

6 空襲時ハ全員哨臺火又豫メ準備シテ待避壕ニ待避スルニ對空射擊部隊ト雖モ勉テ哨臺内又ハ掩蔽シタル地形ヲ選定シ不意急襲的射擊ニ任スルモトス

五本日下達セル命令左ノ如シ

伊西原第三號

伊江島地區隊命令

一 本職自十月五日六日豫定ヨリ以テ島死、兵棋演習參加ノ事、那霸市附近ニ出張ス

陸軍大尉 諸江春美

本職出張不在間地區隊長代理ヲ命ス

伊江島地區隊長 西村大尉

下達法令受領者ヲ集メ口達筆寫セシム

一 陣地構築作業ヲ終日實施ス

二 村民勤務奉仕隊 三六五名出場ス

三 地區隊長軍ニ於テ實施地兵棋演習參加ス。九四〇出發ス

四 井手口軍醫事務連絡、ク、那霸市ニ向ヒ九四〇出發ス

五 主計伍長小林定五郎正木松太郎一等兵事務連絡、ク、味茅

七八三六部隊本部ニ出張中、處本日一一三〇歸隊ス

六 廣瀬少尉木村代太郎隊指導、ク、味茅ニ向ヒ九三〇出發ス

七 一〇五五旅團ヨリ左記情報ヲ受ノ

一 マリヤナ方面敵機動部隊警備中、早

二 十月八日ヨリ、味茅一六六部隊長、向那覇島各地區隊ニ對シ

丙 號戰備下令セヨル

各地區隊並ニ旅團直轄部隊、配備狀況並ニ處置、概

要ヲ速ニ報告セヨト度シ

ハ配備狀況並ニ處置、概要左記、如報告ス(二六三五電話)

左記

各隊八個人裝備ヲ完全ニシ指揮機關及兵力一部ヲ減置シ

主方ヲ陣地附近ニ分散シ從來、射撃部隊一般中隊及機關

銃中隊共ニ各一小隊ニシテ、一般中隊ヨリ一小隊、機關銃

中隊ヨリニ、小隊ニ増加シ對空監視哨、警戒ヲ嚴サラシメ

一般中隊ヨリ沿岸警戒ヲ、夜間各、數回巡察派遣

セシム

九 本日下達法令如シ

十月八日
日曜日
伊江島

伊西隊第三號

伊江島地區隊命令

一ニ
伊江島

一、マリヤナ方面に策動中敵機動部隊の空襲公算大なり

軍の南西諸島に防衛戦備ヲ下令セシム

二、地區隊の沿岸部隊及射撃部隊を配備し海上並に防空警戒

ヲ嚴シ主カク陸地附近に疎開シ敵機ハ配備及兵力ヲ秘匿

シ戦備を整ヒ、不意に訓練ニ逼進シ之ヲ戦備ニ轉移ヲ準備

セシトス

三、各隊の伊西隊命令第三號ニ基キ左記人員ヲ現在地に配置シ

分散ヲ図ルベシ

左記

各隊指揮班 一般中隊約三分の一 第三機関銃中隊二分の一

獨立速射砲中隊 約三分の一

四、各隊ハ左記通り射撃訓練ニ行ヒシム

一般中隊 一小隊 機関銃中隊 一小隊

射撃隊 射撃隊 各隊長トシテ命令ス

五、前記各部隊ハ半同窓家を完成させ天候が容許する

尚輝葉種株を積み陸地附近に家を使用スルコトヲ得

六、各隊ハ各自個人装備ヲ完備シ予備隊ニ祭小銃彈一三〇發

一銃二付キ四〇〇重機一銃二付キ四連ヲ使用シ得ル如ク準備スルシ

七、備兵の現任任務ヲ履行特ニ防空監視並ニ諸警報ヲ傳達ナカ

ラシム

八、各隊ハ本日一五〇迄ニ本部ニ傳令シテ差出し連絡ニ任セシム

完全武装トス

九、各隊ハ燈火管制ニ遺憾ナカラシム

各隊長ハ附近民家ニ指導監督ニ任ス

一 防疫給水班各隊長ト連絡豫メ指示セル處ニ基キ給水ニ任ス

二 給養其他ハ從來通トス

伊江島地區隊長

西村大尉

下達命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

伊西命令第六二號

伊江島地區隊命令

一七〇部(沿革)

四

陸軍監査中尉

井千口

薫

右ノ者業務連絡トシテ自十月八日自十月十四日自十月十四日豫定ヲ以テ那覇市ニ

出張ヲ命ス

五

陸軍少尉

廣瀬

藤勇

右ノ者事務連絡トシテ當分間決崎ニ出張ヲ命ス

六

陸軍少尉

諏佐喜雄次

陸軍上等兵

加藤辰三

陸軍一等兵

大園健一

右ノ者軍犬重傷治療領トシテ一日二日豫定ヲ以テ彼ノ地ニ出張

トシテ三ノ部隊水師ニ出張ヲ命ス

本自受領セル命令左ノ如シ

獨逸部隊命令第五號

獨逸混成第四旅團命令

一〇八一三〇

一 マリヤナ方面ニ敵機動部隊來襲・真ニリ至リ十月ノ

日ニヨリ丙號戰備命令セラル

二 各部隊ハ速ニ戰備ヲ完整シテホツテ持テ二方空襲戰備ヲ整

備品訓練ヲ實施スベシ

三 爾余ノ作戰準備ハ増々促進スルヲ要ス

下達書

電略

旅團長

鈴木少將

一敵機動部隊ハ本朝米敵次ニ互リ艦載機延約三〇機ヲ以テ伊江島渡入地瀨底島鉤地名ヲ護運天港附近各要地ヲ銃爆撃セリ

現在迄ニ判明セル戦果及我々方損害別紙ノ如シ
我々軍状況未タ判明カナラス

二旅團ハ依然乙號戦備ヲ以テ防衛ニ仕ルト共ニ陣地構築ヲ促進セントス

三各隊ハ空ヲ對空對海上、敵言式ヲ嚴ニ監視シ萬遺憾ナキヲ期スルヲ共ニ盡心兼行ヲ以テ陣地、完備ニ努ムハシ

四各隊ハ徹底ニ彈藥糧秣分散配置ヲ取リ被害ヲ極限スハシ

五現在人員左ノ如シ
區分將校准官下士官共計

行フ
二一四〇陸軍中尉并中士〇五部衛隊中出張中、度歸隊ス
四一四〇陸軍少曹級佐喜津次以下五名渡入地隊第七八五部隊本部軍犬軍鳩受領ノクシ出張中、處左記軍犬軍鳩受領シ得隊ス

左記
軍犬 二頭 軍鳩 二羽

五空襲被害状況、調査ヲ實施ス

六特殊彈藥及兵器一部ヲ配當ス

七敵機動部隊綜合情況ヲ取回リ電報ヲ受ク

一〇七〇〇一五五〇間五次ニ三〇機以上(海軍報書ハ敵機動部隊ハ八二B一失、他二〇〇七)沖繩東方ニ五〇キロ附近ニ接近シ

十月十二日
水曜日
伊江島

一敵機動部隊ハ本朝不敵次ニ豆リ艦載機延約三〇機ヲ以テ江島渡入地瀨底島錨地ヨリ護送天港附近各要地ニ銃爆撃セリ

現在迄ニ判明セル戦果及我々方損害別紙ノ如シ
我々軍ノ状況未ク本朝ウナラス

二旅團ハ依然乙號戦備ヲ以テ防衛ニ任ルト共ニ陣地構築ヲ促進セリトス

三各隊ハ空ヲ對空對海上ノ攻撃ヲ嚴ニシ萬遺憾ナキヲ期スルト共ニ晝夜兼行ヲ以テ陣地ノ完整ニ努ムハシ

四各隊ハ徹底トシ彈藥糧秣ノ分散配置ヲ取リ被害ヲ極限スハシ

五全ハ豆味ニテリ
旅團長代理 宇土大佐

十月十一日
水曜日
伊江島

一地區隊ハ對空戰備ヲ許ニ陣地構築ヲ終夜ニ行ハス
二一四〇陸軍中尉中尉井手口憲一郎市出張中、處歸隊ス
四一四〇陸軍中尉佐喜津次以下五名渡入地疎第七八三部隊本部軍火軍鳩受領ノタメ出張中、處左記軍火軍鳩受領シ帰隊ス

左記
軍火 二頭 軍鳩 二羽

五空襲被害状況ノ調査ヲ實施ス
六特殊彈藥及兵器一部ヲ配當ス

七敵機動部隊綜合情況ヲ取回リ電報ヲ受ク
一〇七〇一五五〇間五次ニ三〇機以上(連日)敵機ハ敵機動部隊ハ八二B一共他(ヨリ)沖繩東方ニ五キロ附近ニ接近シ

針
水

來ル

三八三敵三機偵察中ニシテ敵機動部隊ハ依然近海ニア
ルモノカシ

本日下達セル命令左ノ如シ

西休令第三二號

伊江島地區隊命令

二〇二一、二〇二二、
二〇二三、二〇二四、
二〇二五、二〇二六、

一地區隊ハ敵團命令ニ基テ防衛担仕區域内ノ損害ヲ左

ノ要領ニ依リ調査セントス

ノ人員ノ家屋ノ被害状況 二 民心ノ動向

三 是ニ對スル指導

ニ各隊ハ特校一下士官一兵ニテ前記要領ヲ別ニ指示セル區

域ニ付テ調査シ一ハ、二、三、ニ報告ス

伊江島地區隊長代理 諸江大尉

下達セル命令左ノ如シ

獨混四旅隊命令第三五號

獨混深成第四旅團命令

電報ノ略 (抜萃)

一各隊ハ所要ノ兵力ヲ以テ各々其ノ防衛担任區域内ノ損害

速ニ整理シ其ノ結果ヲ報告ス

獨混四旅隊命令第三五號

獨混深成第四旅團命令

電報ノ略 (抜萃)

一十月二旬沖繩本島ニ到着ノ豫定セル有力ノ我々船團ハ

敵情並ニ天候ノ變化ニ依リ入港日將未定トナレリ

一 對空警戒ヲ實施シ、障地構築ヲ昼夜續行ス

二 地區隊改軍司令部兵機演習ノ出張先ヲ帰隊ス

三 飛行場障礙補修ヲ諸江大尉以下三〇名出場シテ補修

ヲ完成ス

十月十日
木曜日
伊江島

四〇二〇左、情報ヲ受フ

一九州方面ヨリ沖繩方面ヲ経テ敵機動部隊攻撃、海軍飛行
隊ハ大部ハ双發ナリ

其ノ飛行機ハ沖繩ニ着陸セラルトニ変更セリ

尚且方面通過、時刻ハ一五〇〇乃至一七〇〇豫想セリ

五空襲警報解除 一四〇〇 南西諸島(宮古島石垣島除ク)

直接敵ノ來襲無キニ依ル 球一六一六部隊長

六本日下達命令左、如シ

西下命令第三號

伊江島地区隊命令

一四〇二〇
戰時司令部

一軍司令部ニ依リハ古瀧ヲラビ一〇〇度 五〇〇キロ敵機動部隊接近

スナリニミテ第一航空艦隊夜間戦闘隊ハ夜間戦闘機ト交

戦中ニテ十日來襲ニテ敵機動部隊一旦南下セルモ西ヒ北上本

隊本島ニ來襲スルコト確信ナリ

二各隊ハ人員兵器糧秣燃料等々壕内ニ退避被逐セシメ

陣地附近ニ射撃部隊ヲ配置シ徹夜ナリシ一員一銃一物損耗ヲ

絶對ニ防止スルト共ニ敵來襲ニ當リテハ必墜リ確信ヲ得ル以内ニ

於テ射撃ヲ實施シ敵ヲ撃退スルシ

四退避ノ行動ハ一般ニ禁ス

五ヲ為メ概テ諸準備ヲ六〇迄ニ完成スルモノトス

伊江島地区隊長代理 諸江 大尉

下達法 命令受領者ヲ焦メ口達筆取セシム

西下命令第三號

伊江島地区隊命令

一四〇二〇
戰時司令部

一獨逸田原司令部第五四號ニ基キ地区隊ハ飛行場ノ補修ニ協

カス各隊ハ左記ノ通り一ニニテ戰時司令部前ニ集合スルシ

左記

十月十日
全通日
伊江島

第七八九中隊各々四〇名 三機ヨリ二〇名 獨速ヨリ三〇名

獨機ヨリ三五名 工兵ヨリ二〇名

二各隊ハ先任將校ノ指揮下ニ殘餘ノ人員ヲ以テ警戒並ニ作業ヲ實施スシ

三第三機関銃隊ハ二銃ヲ 獨立機関銃隊ハ四銃ヲ作業場

ニ携行シ對空射撃ニ任ズシ

伊江島地區隊長代理 諸江 大尉

下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

七本日受領セル命令左ノ如シ

獨速四隊隊令第五四號

獨立混成第四旅團命令

一敵情ニ関シハ現ニ通報セル通り敵機ヲ來襲畧々確實ナリ

二各隊ハ日ノ出迄ニ配備ヲ完了シ對艦心ノ處置ニ遺憾ナキヲ期ス

獨速四隊隊令第五四號

獨立混成第四旅團命令

一敵機艦隊ハ本十日ロニ〇〇項宮古島南方約三〇〇軒ヲ西進

シマナミヨリ台湾空襲ヲ開始セリ

我々海軍第二航空艦隊ハ九州方面ヨリ沖繩北井及小祿

井ニ機動シタル後本十日夕敵機動艦隊ヲ攻撃スルヲ

二旅團ハ濱崎附近ニ配置セル高射砲部隊ヲ前所屬部隊ニ

復帰セシムルト共ニ伊江島井ノ補修ニ協力セントス

四伊江島地區隊長同地井ノ補修ニ関シ航空地區隊長ニ協

カスシ 以下省略

一地區隊長終日陣地構築作業ヲ實施ス

二午前中地區隊長関井中尉ヲ伴ヒ陣地構築ノ指揮ヲ受テ

三地區隊長一四三〇伊江村官民有力者ヲ集メ今後ニ於ケル空襲

十月十四日
土曜日
伊江島

時、動作ヲ教育ヲスト共ニ爾後ニ於ケル障也構築ニ協力ヲ要望ス

四一六一〇 空襲警報發令

五一七一〇 空襲警報解除

六左ノ情報ヲ受ク

一、一〇〇〇 秀山(長沙西方四〇キロ)四〇機東進又南西諸島

ニ向ハントスト一三三〇以降來襲セシ對空監視ヲ廢スシ

一、〇五五〇 左ノ情報ヲ受

今朝〇八三〇前後九州方面ヨリ海軍機飛來スルニ付キ誤リナキ

様注意セラレ度

二、地區隊長〇六〇〇中飛行場ニ至リ海軍飛行機約百十餘機伊

江島ニ〇八三〇頃到着シ燃揮ヲ補給後直ニ台灣方面航空

決戦ニ参加スルヲ知り直ニ命令ヲ下達シ航空隊ヲ活動ヲ容

三、防團員等ヲ同役場前ニ集合セシメ非常時ノ際ニ於ケル行動ニ関

シ訓示ヲ行フ

四、一四〇〇渡入地聯隊本部ヨリ本島一七〇〇聯隊長以下第一大

隊取砲(二分一ス)二分(四分一ス)ヲ伴ヒ伊江島地區ノ兵力増強

ノため來島ヨリハ電話アリ

五、一四〇〇瀧井中尉指揮スル三〇小隊(重機一〇小隊)ヲ對空射撃

機ヲシテ四波止場附近ニ派遣ス

六、一六三〇 聯隊長以下到着シ役場附近ニ宿營ス

聯隊長着任ト共ニ地區隊長ハ聯隊長ノ指揮ヲ入ル

七、二二二〇 旅團ヨリ左ノ通報ヲ受ク(那霸オロシ海軍部隊)

十一日一 十三日二日ヨリ航空母艦九隻一十三隻撃沈確

實ナリ

八、本日下達元命令左ノ如シ

西村命第三五號

伊江島地區隊命令

西村大尉
中飛行場

- 一 台灣石垣島ニ於テ十月十日以降敵機動部隊策動中ナリ
海軍航空部隊戰爆連令百十餘機本十四日八時頃伊
江島ニ到着シ燃彈補給ヲ受テ台灣方面ニ出動ス豫定ナリ
- 二 地區隊一部ヲ兵力ヲ飛行場ニ派遣シ飛行場大隊ニ協
力シ燃彈補給ニ任シ飛行部隊ノ行動ヲ容易ナシメントス
- 三 本部及各隊ノ將校ヲ指揮スル約三分一ノ兵力ヲ即刻飛行
場ニ派遣シ燃彈補給ニ協力スヘシ
- 四 大隊機關銃中隊及獨立機關銃中隊ヨリ各一小隊ヲ對空射
擊部隊トシ飛行場ニ派遣シ對空射擊ニ任セシム
- 五 余ハ中飛行場ニ在リ

伊江島地區隊長

西村大尉

伊江島地區隊命令

西村大尉

- 一 狀況近迫シ敵ノ上陸企圖濃厚ナルニ付、如シ
伊江島ニ於ケル守備兵力増強シテ聯隊長ヲ指揮スル約二
大隊本ヲ刻伊江島ニ到着スルニ付
- 二 地區隊一部ヲ以テ聯隊主力上陸接渡宿舎準備ヲ實施
セントス
- 三 間井中尉ハ大隊機關銃中隊ヨリ一小隊獨立機關銃中隊ヨリ
一小隊及第九中隊一小隊ヲ併シ指揮シ回波上場ニ位置シ對
空射擊ヲ援護ニ任ス
- 各隊ハ該兵力ヲ大々進回波上場ニ派遣シ間井中尉ヲ指
揮下ニ入ラシム
- 四 大隊本部第七六中隊機動中隊ヨリ下士官二兵三聯隊砲
工兵一小隊ヨリ下士官一兵二、大隊副官、下士官出ス

大隊副官ハ該兵力ヲ指揮シ聯隊主力ノ宿營準備ヲ實施ス

伊江島地區隊長 西村大尉

下選法各隊命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

九本日受領者命令左ノ如シ

獨混四旅隊命令第五號

獨混混成第四旅團命令 一四二二號

一皇國ハ今明ニ臺灣附近ニ於テ航空決戦ヲ企圖ス

軍ハ管内ニ於テ航空艦隊ヲ確保シ右ノ作戰遂行ニ協力ス

二旅團ハ伊江島ニ兵力ヲ増強シ飛行隊ニ協力飛行場ヲ即時補修ニ遺憾ナカラシムトス

三獨混混成第十五聯隊長ハ同聯隊本部歩兵一大隊同聯隊砲中隊ノ主力及同聯隊工兵中隊ヲ率ヒ速ニ伊江島ニ前進シ

伊江島地區隊長トシテ航空機ヲ飛行場ニ協力シ飛行場即時補修ニ遺憾ナカラシム

船舶輸送ニ關シハ曉部隊ト協定ス

以下省略ス

獨混一旅隊命令第五號

北地區隊命令 一四二二號 (抜萃)

二北地區隊(大隊)ハ獨立速射砲中隊(ハ伊江島地區隊及

同地飛行場大隊ヲ併シ指揮シ新ニ伊江島地區隊トナリ晝夜ヲ

間ニ飛行場協力ヲ特ニ飛行場補修ニ際シ遺憾ナカラシム

トス

二伊江島地區隊及同地飛行場大隊ハ地區隊長ハ伊江島到着

後其指揮下ニ入ル

伊江島地區隊ハ一部ノ重火器ヲ伊江島板橋附近ニ配置シ

部隊ノ上陸ヲ掩護ス

部隊本部到着より現在務り續行スシ
 獨泥一五作令第五六號

伊江島地區隊命令 (披萃)

一地區隊本部より飛行場附近主力ハ伊江島村落内ニ露營ス

四飛行場附近露營司令官ハ 野崎 大尉

伊江島村落内ハ 西村 大尉トシ

各露營區毎ニ警戒及勤務ヲ區處スシ

六諸隊ハ夫番 澤樂 種林 資茂 等一カ洞窟内ニ分散格納

シ 砲撃ニ對スル損害ヲ皆無ナラシムル如ク速ニ區處スシ

七各大隊ハ步兵一小隊附主カヲ以テ常時對空射撃ヲ準備ス

一四三三ニシルト共ニ對空監視ヲ嚴ナラシムル

八空襲警報ハ「サイト」ニ依リ傳達ニシルト共ニ空襲警報發

令間ハ赤旗ヲ學校屋上ニ掲グ
 日本日 獨逸中隊未同上昇兵以下三名ヲ殺害セテ隊所閉シテ去ル

被襲者 齋藤 義典 入所ス
 日本日 現未員左ノ如シ

區分	將校	准士官	下士官	兵	計
人員	二四	四	一〇九	七一六	八六三

一 陣地構築作業ヲ終日實施ス

二 村民動勞奉仕隊三二〇名出場ス

三 一四〇防衛担任區域内被害狀況ヲ左記ノ如ク電話ニ報告ス

左記

一 西村部隊 (含配屬部隊)

戦死 衛生下官 一 兵 二

重傷 兵 二

軽傷 兵 一

自動車 (防鈴) 一 炎上

十月十五日
 日曜日晴
 伊江島

二 飛行場側

ノ飛行場大隊(司令部配屬部隊)

戦死 約一〇名

負傷 約一〇名

又滑走路、被害ハ輕微ナリ

又兵舎ハ若干焼失、倒壊セリ

又人夫宿舎ハ若干焼失セリ

三、村民側

ノ爆死 二 負傷 二

又家畜馬四頭 (爆死)

又家屋焼失 一 倒壊 五

四一般民心ハ多少動搖モモ地ニ隊將兵、指揮ニ依リ漸次

平穩ニ歸セリ

四一八三ノ村ニ於テハ、村民ノ行動ニ阻シ、口實、スルト六ニ隊地掃蕩ニシテ

同時ニ先般、空襲時ニ犧牲向精神、發源ニ勇敢ナル行動

ヲナセ、地區隊使用人ニ名(炊事ニ決別中、女子)又救護班

員ニ名(女子青年)一對ニ賞詞ヲ與ヘリ

五一九五〇 球第一六六部隊ヨリ左ノ情報ヲ受フ

一、丙號戦備解除

二、南西諸島地區

三、一九三〇

四、球第一六六部隊長

五、敵機動部隊攻撃ノ算ナキニ依ル

二、三、情報ヲ受フ

一、本十五日一二五機載機約五〇機(マニラ)東飛行場

ヲ攻撃セルモ損害輕微ニシテ爾後空襲ナシ

二 台湾一區ニヨリ一四四五ノ間支那方面ヨリB型
 B型 數機、攻撃ヲ中部及南部ニ受ケタルモ損
 害輕微ニシテ爾後攻撃ナシ
 三 軍管内ハ本十音日異狀ナシ
 四 南西諸島台湾ヲ攻撃セル第五艦隊第五八機動部
 隊ハ屢次ニ豆ルカ攻撃ヲニ壊滅スルカノ如キモ支那
 空軍ノ活動漸次活潑ト豫想セラル
 大本日下達セル命令左ノ如シ

露營命令

- 一 伊江島村落内ニ宿營スル各隊ハ陣地附近ニ於テ露營スベシ
- 二 對空射撃部隊ハ夜間一般中隊ヨリ(第七、第八、第九中隊ノ順)一ヶ
 小隊第三機関銃獨立機関銃中隊ヨリ各々一ヶ小隊晝間一般中隊機
 関銃中隊毎ニ各々一ヶ小隊ヲ陣地附近ニ隨時配置シ得ル如ク準備シ
 アルベシ
- 三 露營日直將校巡察將校左ノ如ク命ス

月日	日直將校	巡察將校	月日	日直將校	巡察將校
二五	山寺中尉	山下少尉	二九	小川中尉	小手川少尉
二六	竹田中尉	野石少尉	二〇	関井中尉	中澤少尉
二七	高橋中尉	河谷中尉	二二	山寺中尉	市橋中尉
二八	諸江大尉	井上少尉	二三	竹田中尉	高橋曹長

〇三	高橋中尉	田澤准尉	〇六	竹田中尉	渡邊中尉
〇四	諸江大尉	板垣曹長	〇九	高橋中尉	柵瀬中尉
〇五	小川中尉	平松中尉	〇三	諸江大尉	水野谷少尉
〇六	関井中尉	安心院少尉	〇三	小川中尉	森谷中尉
〇七	山寺中尉	加藤中尉			

露營衛兵トシテ一般中隊ヨリ下士官一喇以手一兵三ヲ埠頭ニ派遣スヘシ

細部ハ日直將校ノ指示ヲ受クヘシ

十月十五日 第七中隊 十月十六日 第八中隊 十月十七日 第九中隊

(爾後第七第八第九中隊ノ順)

五 對空監視ハ大隊豫備隊ヨリ長以下七名ヲ伊江城山中腹ニ位置シテ露

營日直將校ノ指揮ヲ受クヘシ

六 戰備ノ度ハ丙トス

七 余ハ本部山ニ在リ

下達法 要旨ヲ傳ヘ後印刷記布 露營司令部官 西村大尉

七 本日受領セル命令注ノ如シ

獨混三五休命第五八號

伊江島地區隊命令

一 十月十日以來一部ヲ以テ南西諸島主カヲ以テ台邊ニ來襲セル

有カナル敵機動部隊ハ皇軍 猛攻ニ依リ 潰滅打撃ヲ蒙リ

東方ニ進去中ニシテ我々軍ハ之對シ戰果擴大中ナリ

軍ハ本十音一九三〇 可號戰備ヲ解ク

二 地區隊ハ一部ヲ以テ飛行場大隊 飛行場整備作業ニ協カス

ルト夫ニ主カハ依然陸地構築ヲ促進セシトス

三 各隊ハ一部ヲ以テ對空監視ニ任セシテ對空射撃部隊ハ之ヲ撤

隨時對空射撃ニ移行シ得ル態勢ヲ以テ陸地構築促進ヲ計シ

大爾余 諸隊ハ前任務ヲ續行シ戰備完整ヲ促進スヘシ

十月十六日
月曜日晴
伊江村

一〇一三〇旅團ヨリ左ノ情報ヲ受ク

十五日ニ三三〇成都ヨリBヲ出撃・疑アリ警戒ヲ要ス

二〇七三〇ヨリ約三〇間大隊長村民勤勞奉仕隊ニ對シ本日迄ニ

判明セル戦況ニイスラ構へ軍ニ信賴シ陣地構築ニ層ノ協ウラ

要望ス

三各隊ハ陣地構築作業ヲ終日實施ス

四村民勤勞奉仕隊ニ六八名出場ス

五二四二〇空襲警戒報發令

六一四三〇ヨリ約二〇間ニ亙リ陣地視察ヲナス

七一五二〇空襲警戒解除

八本日下達セル命令左ノ如シ

西日令第五六號

大隊命令

一

九本日下達セル命令左ノ如シ

十本日下達セル命令左ノ如シ

十一本日下達セル命令左ノ如シ

十二本日下達セル命令左ノ如シ

十三本日下達セル命令左ノ如シ

十四本日下達セル命令左ノ如シ

十五本日下達セル命令左ノ如シ

十六本日下達セル命令左ノ如シ

十七本日下達セル命令左ノ如シ

十八本日下達セル命令左ノ如シ

十九本日下達セル命令左ノ如シ

二十本日下達セル命令左ノ如シ

二十一本日下達セル命令左ノ如シ

二十二本日下達セル命令左ノ如シ

二十三本日下達セル命令左ノ如シ

二十四本日下達セル命令左ノ如シ

二十五本日下達セル命令左ノ如シ

二十六本日下達セル命令左ノ如シ

二十七本日下達セル命令左ノ如シ

二十八本日下達セル命令左ノ如シ

二十九本日下達セル命令左ノ如シ

五子ハ伊江島役場ニアリ

四爾余ノ諸隊ハ現在務ヲ續行スヘシ

嚴シキルト共ニ一部ヲ以對空射撃ノ態勢ニアラシムヘシ

隊ハ伊江島南西海面第三大隊同東北海面ノ對空警戒ヲ至

三第大隊第三大隊ハ各々對空警戒ヲ至嚴ナラシムヘシ

二取隊ハ内號戰ヲ移行シ對空對潛警戒ヲ至嚴ナラシムヘシ

軍ハ右ニ伴ヒ警戒ヲ強化スル為メ内號戰備ヲ下令ス

一今般累ニ得從武官ニ平島文雄中將ヲ第三軍ノ狀況實

ノ為メ十月十六日御差遣アラセラル

何ニ島地區隊命令

何ニ島地區隊命令

何ニ島地區隊命令

何ニ島地區隊命令

何ニ島地區隊命令

何ニ島地區隊命令

何ニ島地區隊命令

何ニ島地區隊命令

何ニ島地區隊命令

何ニ島地區隊命令

何ニ島地區隊命令

何ニ島地區隊命令

何ニ島地區隊命令

何ニ島地區隊命令

何ニ島地區隊命令

何ニ島地區隊命令

何ニ島地區隊命令

何ニ島地區隊命令

十月十七日
火曜日
伊江島

下達法印刷交付

伊江島地區隊長 美田大佐

一、〇三三五 台灣軍ヨリ左ノ情報ヲ受ケ

現在適走中、敵機動部隊ハ外新正敵機動部隊那
彌東方約一〇乃至三〇哩附近ニアルモノ、如シ

最ニ警戒ヲ要ス

二、各隊ハ西隊命令第三八號ニ基キ特ニ對空警戒ヲ最ニシ昼夜兼
行陣地構築作業ヲ實施ス

三、〇九三〇ヨリ伊江村役場ニ於テ聯隊長親裁、下ニ整備上ニ關スル
打合ニ大隊長出場ス

四、一三一二 空襲警報發令

五、一三〇四 聯隊長各大隊長及各中隊長ヨリ伊江島役場ニ集合セ
シテ各隊員及大隊長以下各隊員
出場ス

六、村民勤勞奉仕隊ニ六〇台出場ス

七、一四三〇 空襲警報解除

八、本日下達セル命令左ノ如シ

西隊命令第三八號

大隊命令

本一七、〇四、〇

一、現在適走中、敵機動部隊、外新正敵機動部隊ハ

那彌東方約一〇乃至三〇哩附近ニアルモノ、如シ

二、大隊ハ本早朝敵空襲ノ顧慮ヲ特ニ對空警戒式ヲ嚴ナラ

シメントス

三、各中隊長、隊員示シテ對空射撃ヲ速ニ配備ニ就カシムルヲ大

ニ道ニ待避シ得ルヤク準備ニアルヘシ

四、余ハ本部山ニ在リ

大隊長

西村大尉

十月十八日
水曜日晴
伊江島

下達法令受領者。集。口達筆記セシム

一〇七〇警戒警報解除

二〇七三〇大隊長 各中銃隊長ヲ集。西休命第三九號ノ要旨ヲ

傳。所要。指示ヲナス

三。各隊ハ西休命第三九號ニ基キ速ニ実行ス

四。各隊ハ陣地構築ヲ終日實施ス

五。大隊長 各中銃隊長ヲ各隊陣地ニ視察ヲナシ所要ノ指導ヲ

ナス

六。本島下達セル命令左ノ如シ

西休命第三九號

大隊命令

一。聯隊ハ大隊二大隊 從來。西村部隊。配属部隊ヲ含ムハ新ニ伊

江島地区部隊トシテ伊江島ヲ確保ス

二。大隊ハ燈台附近。ハニニ高地前線。伊江島山。南麓ヲ

経テ高地高地ヲ含ム線ヲ以南。地区。陣地。占領セントス

三。第九中隊ハ第一大隊ニ連繫シ伊江島山東方道路。燈台道

路ニ至ル間堅固ニ陣地ヲ占領シ一部ヲ以テ第一大隊方向ニ火力

ヲ指向シ得ル如ク準備スベシ

四。分隊。飯場。東方松林高地ニ派遣シ監視部隊多シム

燈台附近ニ派遣シテ警戒シ小隊(タニ分隊)分隊(附ス)本日

中ニ撤退スベシ

五。第四中隊(タニ分隊)ハ第九中隊ニ連繫シ記念碑高地學校

周邊高地ヲ占領スベシ

六。第二部ヲ以テ大井ナ附近ヲ確保スベシ

七。第七中隊(タニ分隊)ハ高地高地ヲ由波上場道路ニ至テ陣地

ヲ占領シ特ニ文山。陣地ヲ堅固ニスベシ

八。第三機関銃中隊ハ主力ヲ以テ第九中隊正面一部ヲ以テ第八中

隊第七中隊正面射撃を得ル也陣地を占領スシ

七隊七中隊一小隊大隊豫備隊ト本部山西南側ニ陣地構築スシ

大隊長 西村大尉

下連法中隊改要旨得て後命令受領者集メ口達筆記セム
七西作命第三七號并替別紙附圖第二ニ如シ

一各隊ハ陣地構築作業ヲ終日實施ス

二一四〇〇聯隊長ヨリ獨混一五作命第六一號ノ要旨ヲ受ケテ各隊
長ヲ集メ西作命第四一號ノ要旨ヲ下達ス

而テ大隊ハ聯隊ノ指揮下ニ脱シ旧態勢ニ復歸シ西作命第
二七號ニ基キ戰術準備ヲ實施ス

三本日下達セル命令左ノ如シ
西作命第四一號

一大隊ハ陣地ハ最も堅固ニ大規模ニ構築スシ

二特ニ左ノ記ノ件ニ付キ留意スシ

ノ各隊毎ニ速ニ彈藥集積所ヲ準備スシ

二機噓掩蔽部ヲ速ニ完成スルニ第九中隊右正面に木柵ヲ
以テ敵陣ニ對シ破壞品ヲ貯ルル如ク準備スシ

三第七中隊主隊道路以外ハ敵ヨリテヨリヨリ通過セシメサ
ルル準備スシ

四敵後橋ノ肉攻據ニ延有奇襲ノ機ヲ準備スシ

五本部及各隊ハ本朝日中ニ起テテ多クノ隊ヲ遣テ我ハ志集メ陣地附近
ニ警戒スシ

六各隊ハ本部ニ於テ馬車及古クノ準備品各隊ニ分給スル
各隊ハ朝日二時ヨリ三時迄ハ中隊前ニ於テ受領スル

四余ハ當分ハ各隊ハ陣地構築準備品ヲ指導スル

十月十九日
水曜日
伊江島

各隊、適宜連絡スル

大隊長

西村大尉

下達法 命令受領者、集口筆筆記スル
西村命第四一號

伊江島地區隊命令

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

一、戰隊主力、旧態勢復歸ニ伴ヒ大隊(配属部隊モ同シ)小南

ニ伊江島地區隊ヨリ旧態勢ニ復歸セシム

二、各隊ハ十月一日西村命第三七號ニ基キ戰力準備ヲ實施スル

伊江島地區隊長 西村大尉

下達法要旨 各隊長ニ傳ヒ使テ命令受領者ヲ集口筆筆記スル

四、本日受領スル命令左ノ如シ

獨混四四旅隊命令第六二號

一、獨混四四旅隊第四四旅團命令

四、東項ニ挿入

二、號戰備下令間空襲被害救済解除ヲモテ別命令ヲ丙號戰

備ニ移ルモトス

ハ、未項ニ挿入

丙號戰備下令間警戒警報解除ヲモテ別命令ヲ

丁號戰備ニ移ルモトス

旅團長 鈴木少將

下達法 電話 後、印刷交付

獨混四四旅隊命令第六三號

獨混四四旅隊第四四旅團命令

一、旅團、伊江島ニ増強シ兵力ヲ旧態勢ニ復歸セシム獨混四

四旅隊命令第四一號第一項、任務ヲ續行ス

二、獨立混成第一五戰隊長ハ四伊江島地區隊ヲ配置シ獨混四

四旅隊命令第四一號第一項、任務ヲ續行ス

三、獨立混成第一五戰隊長ハ四伊江島地區隊ヲ配置シ獨混四

四旅隊命令第四一號第一項、任務ヲ續行ス